

精神障害者の生活支援システム

問題 73 「障害者虐待防止法」に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 虐待の種別は、身体的虐待、心理的虐待、放棄・放置、性的虐待の4類型であると規定されている。
- 2 障害者手帳を取得していない障害者は対象外である。
- 3 養護者による虐待を受けたと思われる18歳以上の障害者を発見した者は、市町村に通報しなければならない。
- 4 相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現を目指すことを目的としている。
- 5 障害者及び養護者への相談等の窓口として、市町村に障害者権利擁護センターが設置された。

(注) 「障害者虐待防止法」とは、「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」のことである。

問題 74 「障害者総合支援法」に基づく地域定着支援を活用した居住支援に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 指定特定相談支援事業者が実施する。
- 2 障害福祉サービスの体験的な利用支援を行う。
- 3 利用期間は6か月以内と規定されている。
- 4 グループホームや宿泊型自立訓練の利用者は対象外である。
- 5 障害者専門支援員が担当する。

(注) 「障害者総合支援法」とは、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」のことである。

問題 75 精神障害者の就労支援に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 就労継続支援(A型)は、雇用契約の締結による就労機会を提供する。
- 2 就労継続支援(B型)は、利用期間を定めている。
- 3 地域障害者職業センターは、市町村に1か所ずつ設置されている。
- 4 「障害者総合支援法」は、障害者雇用率を定めている。
- 5 障害者就業・生活支援センターは、事業主に障害者雇用率達成指導を行う。

問題 76 次のうち、市町村の精神保健福祉業務として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 精神科救急医療体制の整備
- 2 医療保護入院の入院届の受理
- 3 措置入院の定期病状報告の受理
- 4 精神障害者保健福祉手帳の申請受理
- 5 患者の移送に関する調査

問題 77 次のうち、保健所の精神保健福祉業務として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 精神障害者のサービス等利用計画の作成
- 2 精神障害者に対する訪問指導
- 3 精神障害者に対する職場適応訓練
- 4 精神障害者に対する日常生活自立支援事業
- 5 精神障害者の障害支援区分の認定

(精神障害者の生活支援システム・事例問題)

次の事例を読んで、問題 78 から問題 80 までについて答えなさい。

[事 例]

Kさん(38歳, 女性)は, 大学を卒業後にIT企業で勤務。5年前に対人関係のトラブルから抑うつと希死念慮が出現し, W精神科病院を受診したところ, うつ病と診断され, 短期間ではあるが入院した。Kさんは退院後, 通院を続け抑うつはほぼ消失したが, 気力が続かず, 疲れやすく, 働き続ける自信をなくして退職し, 自宅でひきこもりがちな生活をしていた。

2年前に, 同じW精神科病院に入院していた人が就労したと知ったことから, 「自分も仕事がしたい」と就職に興味を持ち, W精神科病院のL精神保健福祉士に相談をした。面談を通じて, Kさんは一般企業での就労を希望していること, 体力は低下しているが症状は落ち着いていること, ITの技術もあることが分かった。L精神保健福祉士は, 一定期間の訓練後にはKさんが一般企業への就労も可能であると考え, 近隣のX機関を紹介した。X機関ではM精神保健福祉士が個別支援計画を作成し, Kさんの利用が始まった。(問題 78)

KさんがX機関を1年利用した後, KさんとM精神保健福祉士の間で今後の方向性が話し合われた。Kさんは, 「私もそろそろ一般企業でITの技術を生かして働きたいと思っています。ただ, 病気のことを理解した上で職務内容を調整してくれる職場で働きたいのですが」と語った。M精神保健福祉士は, 法律に定められた障害者向けの雇用制度があることを説明した。その後, KさんとM精神保健福祉士は, 障害者向けの求人^{あつせん}を斡旋している公共のY機関を訪れた。Y機関では, A担当者が対応した。(問題 79)

A担当者は, KさんにIT企業を斡旋した。そのIT企業はKさんを障害者雇用率に算定して雇用することにした。(問題 80)

問題 78 次のうち、Kさんが利用したX機関として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 障害者職業能力開発校
- 2 就労継続支援(B型)事業所
- 3 就労移行支援事業所
- 4 障害者職業総合センター
- 5 地域活動支援センター

問題 79 次のうち、A担当者の職の名称として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 障害者職業カウンセラー
- 2 障害者職業生活相談員
- 3 サービス管理責任者
- 4 生活支援員
- 5 精神障害者雇用トータルサポーター

問題 80 次のうち、A担当者がKさんにIT企業を斡旋する前に確かめたこととして、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 障害基礎年金の受給
- 2 精神障害者保健福祉手帳の所持
- 3 ストレスチェックへの回答
- 4 サービス等利用計画の作成
- 5 障害支援区分の認定